

今月のスポットライト



浦郡フィルハーモニー管弦楽団
演奏会実行委員長
宮瀬 浩志さん

企画広報課 ☎66♦1145

市制60周年に 新たなチャレンジ

私たち浦郡フィルハーモニー管弦楽団は、ベートーヴェンやブラームスといったクラシック音楽を主に演奏するオーケストラとして30年以上活動してきたのですが、「タイタニック」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」、「スターウォーズ」などの映画音楽は、お客様の希望曲アンケートに毎回記載されるほどの人気曲でした。ただし楽譜の調達、著作権料などクリアしなければならぬ問題が多く、これらの曲を一同に並べた演奏会の開催は長年の課題でもありました。今回は、JWFC(ジョン・ウイリアムズ・ファン・クラブ)代表の神尾保行氏のご協力を得て、また当日も進行役としてもご登場いただき、懐かしい映画音楽から

最新のサウンド・トラック20曲を、古き良き時代から現在に至る浦郡のスライドと共に聴きいただきます。
普段クラシック音楽に接する機会のない方も、クラシックファンの皆様も、ぜひこの機会にご来場くださいますようお願い申し上げます。

第43回定期演奏会

〜映画音楽でつづる浦郡の60年〜

とき 6月8日(日)

開場 午後1時20分

開演 午後2時

ところ 市民会館 大ホール

指揮 倉知竜也

入場料 前売券 千円

当日券 千200円

チケット取扱い 市民会館ほか

曲目 2001年宇宙の旅、

アラビアのロレンス、ニュー・

シネマ・パラダイス、スター

ウォーズ、ハリポッターと

賢者の石ほか



生命の海から

学芸員 山中 敦子

生命の海科学館
☎66♦1717

浦郡の石ころさんぽ① 〜西浦半島〜

春爛漫!

さんぽやピクニックが楽しい季節の到来です。

私もつい先日、西浦半島の海沿いの遊歩道を歩いてきました。明日葉や赤く色づいたグミ、金色のイタチなど、たくさんのおいしい出会いがありました。とはいえお目当ては彼らではなく、その下の岩盤。春の陽ざしの下の、植物や動物たちの世界のさらにその下に広がる、巨大な世界です。

地底から半島へ

動かざること山の如し、といいますが、それは生物の時間で見たときのこと。岩の時間、地球の時間で考えれば、山も大地も結構動いています。

浦郡の大地は概ね、9千万年

前にできた岩のかたまりです。9千万年前といえば、恐竜時代の終わりごろ。鉱物の分析から、当時の西浦半島は、地下30キロの深さに広がる灼熱のマグマのかたまりだったと考えられています。遊歩道の周辺に、当時を物語るマグマが流動した痕や、成分の異なるマグマがまざりあった様子が見えます。また、それらを貫くさまざまな岩脈は、長い長い時間の中で岩が割れ、大地が動いた名残です。岩脈に見える小さな水晶や黄鉄鉱などの美しい鉱物は、大地の長い歴史を物語る生き(?)証人でもあるのです。

石ころはタイムカプセル
刻々と変化し続ける生物の世界の下には、数千万年を経た岩の世界が広がっています。それらは人間には想像し得ない長い時間の中で、ゆっくりと変化し続けているのです。

たまには足元にも目を向けてみませんか?こつんと蹴ったその石ころは、恐竜時代から続く岩のかげらですよ、きつと!



生命の海科学館の「身近な石の世界」のコーナーがリニューアル。浦郡の岩石の歴史と魅力を、どうぞご堪能ください。